




2003年6月




人間ドック紹介サービス




在宅医療サービス



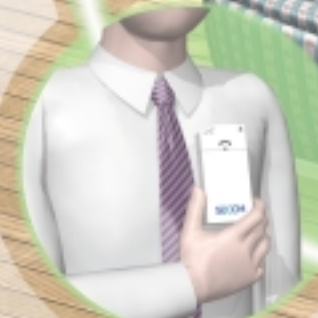
「ほっと健康ライン」サービス



医療機関・専門医などの
紹介サービス



救急通報サービス



家庭の安全を24時間見守る
ホームセキュリティ

携帯型ヘルスマニターサービス

毎日の暮らしをトータルに守るセコム

高齢社会、長寿社会となった今、安心な暮らしのための防犯と並ぶ大きなテーマは健康。セコムは今秋から、セキュリティとメディカルサービスを一体的に提供していくために、予防医療や救急医療関連サービス、医療機関・専門医などの紹介サービスを柱とする会員制の「セコム・メディカルクラブ」を開始し、毎日の暮らしをトータルに守っていきます。

セコムグループの目標

「 社 会 シ ス テ ム 産 業 」 の 構 築

新生セコム5カ年構想の2年目

ビジョン

Originate New SECOM

新生セコムへの第二の創業

理念

We are SECOM

セコムカルチャーの透徹

2003年度運営方針

大いなる躍進の年

We are SECOM.

株主のみなさまへ



株主のみなさまには、日ごろよりセコムグループの活動にご支援をたまりまして、誠にありがとうございます。

2002年度の連結売上高は5,232億円(前期比5.1%増)で過去最高の実績となり、営業利益は729億円(前期比69.5%増)、経常利益は700億円(前期比68.7%増)と、ともに過去最高益を更新しました。当期純利益は株価下落の影響で投資有価証券評価損を106億円計上するなどことから、過去最高益には届きませんでしたが、前期比271.3%増の355億円となりました。

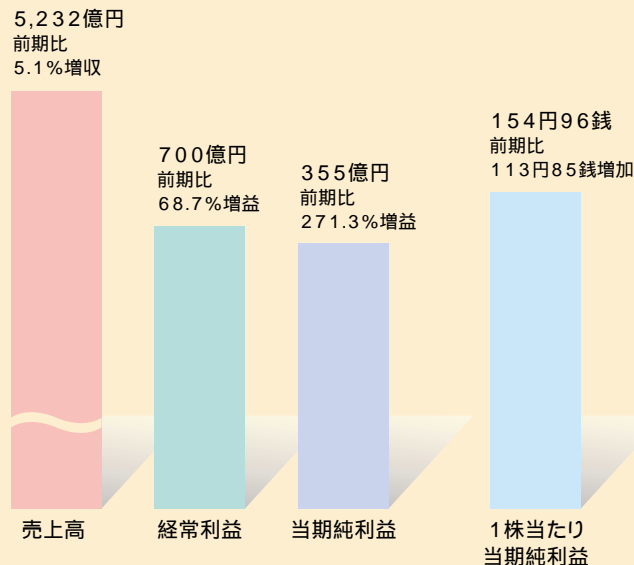
同じく単体の売上高は2,786億円(前期比1.4%増)、営業利益541億円(前期比39.2%増)、経常利益535億円(前期比37.6%増)、当期利益307億円(前期比81.6%増)と、いずれも過去最高となる成果を収めました。

今後も、「あらゆる「不安」のない社会」を実現するために、企業目標である「社会システム産業」の構築に向けてグループの総力を結集してまい進いたしますので、私どもに対しまして深いご理解をたまり、なお一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

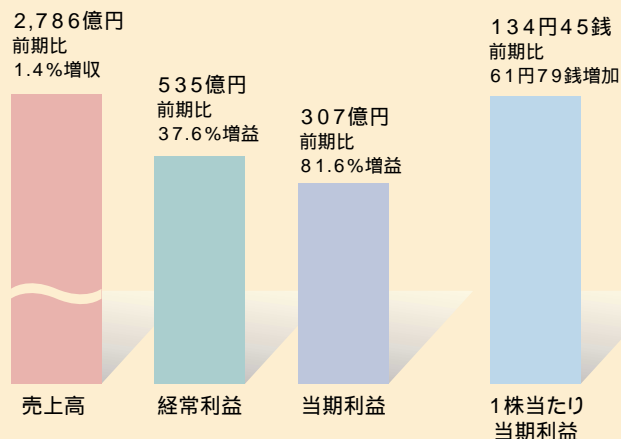
2003年6月

セコム株式会社代表取締役社長 **本村 昌平**

2002年度の業績(連結)



2002年度の業績(単体)





トップインタビュー

「社会システム産業」の 本格展開に向けて

セコム創立40周年の昨年、社長に就任し、『新生セコム5カ年構想』を発表した木村昌平社長に、セコムグループの「2002年度の営業活動と成果」「現在の状況」「今後の展開」について聞きました。

代表取締役社長
木村 昌平

Q | セコムグループの2002年度の営業活動と成果について総括をお願いします。

巧妙化・凶悪化する新手の犯罪に対応した
商品やサービスをいち早く開発

厳しい経済状況が続く中で、私たちセコムグループは当期も、「社会システム産業」の本格展開に向けて、社会のニーズに応えた新システム・新商品の開発はもちろん、営業活動の強化、サービスの充実をはかるなど、積極的に事業を推進しました。

特にセキュリティ事業については、このところ建設機械によるATM店舗の破壊と現金強奪、事務所や店舗での短時間犯行、車の盗難、そして住宅でのピッキング被害や凶悪な強盗事件などが大きな社会問題になっていることから、いち早くこれらの問題に対応しました。

たとえば、ATM店舗に近づく建設機械を認識して音と光で威嚇し、煙で破壊行為を抑止する「ATM店舗セキュリティシステム」を発売する一方、「セコム・ホームセキュリティ」を補完する目的から、旭硝子と共同開発したセンサー付き防犯ガラスである「SECOCOM あんしんガラス」、破壊に強く、取り外しを感知するセンサー内蔵の「セキュリティ面格子」、こじあけや破壊に一定時間耐えられる「ストロングドア」など、家屋の安全強化に役立つ商品の提案を行いました。

このほか、メディカル事業では、わが国初の食事支援ロボット「マイスプーン」の発売、携帯型ヘルスマニターサービス「心電図伝送サービス」の開始、情報・通信・その他の事業では、データセンターの機能を備えた本格的な情報金庫「セコム情報金庫」の発

売など、社会や人々が求めるサービスシステムを開発・発売し、お客様から高い評価をいただきました。

売上高・営業利益・経常利益のいずれも過去最高の成績を記録

この結果、2002年度における連結売上高は5,232億円、前期比5.1%の増収と過去最高の実績となりました。また、営業利益は729億円、前期比69.5%の増益、経常利益は700億円、前期比68.7%の増益と、共に過去最高益を更新しました。当期純利益は、株価下落の影響で投資有価証券評価損を106億円計上するなどしたこと、過去最高益には届きませんでしたが、前年比271.3%増益の355億円となりました。

これを事業別に見ると、セキュリティ事業の売上高は3,519億円、前期比3.8%の増収、営業利益は805億円、前期比25.9%の増益。メディカル事業の売上高は199億円、前期比48.5%の増収、営業利益は12億円で、初めて黒字化を達成しました。

保険事業の売上高は381億円で、資産運用環境が悪化したため、高利回りの資産運用型保険の販売を中止した影響から、前期に比べ5.8%の減収となりましたが、営業利益は18億円と黒字になりました。情報・通信・その他の事業の売上高は1,131億円、前期比7.9%の増収、営業利益は42億円、前期比162.3

%の増益となりました。

なお、セコム単体決算の業績は、売上高が2,786億円、前期比1.4%の増収、営業利益が541億円、前期比39.2%の増益、経常利益が535億円、前期比37.6%の増益、当期利益が307億円、前期比81.6%の増益と、いずれも過去最高となりました。この結果、1株当たり当期利益は134円45銭となりました。

Q 昨年、セコムは創立40周年という節目を迎え、新たなステージに入りました。現在のセコムグループの状況についてお話しください。

「困ったときはセコム」と頼りにされる企業になることが目標

私たちは「あらゆる「不安」のない社会」の実現に向けて「社会システム産業」の構築をめざしています。この「社会システム産業」とは、セキュリティシステムの提供を通して築いてきたわが国最大級の情報通信ネットワークをベースに、社会にとって安全で便利で快適なサービスシステムを創造し、それらを複合的・融合的に新しいトータルシステムとして提供する産業のことですが、私はもっと簡単に「困ったときはセコム」と頼りにされる企業になることと言っています。



たとえば家庭で困ることは何か。侵入されたら、火災が起きたら、急病になったら、子供が行方不明になったら、愛車が盗まれたら……困る。そうした社会の中の困ったことを探し出し、その解決策を新しいサービスシステムとして提供していく。そして、それらを個別にではなく、複合化・融合化して提供すれば、より安心で、より便利で、より低コストになる。これは社会にとって有益であり、これができるのは私たちしかない、そう考えて15年前から「社会システム産業」を企業目標にしてきました。



その第1弾として、クロスマーケティングの徹底をはかるために、あらゆる機会を捉えてセコムグループの商品を紹介し提案するシナジーセールスキャンペーンを行いました。そして、その後も左記目標を達成するための施策を矢継ぎ早に展開し、成果を上げています。

たとえば、のグループシナジーについては、セキュリティ事業とメディカル事業の融合により、家庭向けサービスはこれまでの防犯・防火という段階から、健康・医療も含めた「暮らしを守る」という段階へ進みつつあります。

すべての既存事業の収益事業化と各事業分野の融合化に取り組む

私たちは、その「社会システム産業」を構築するために、これまでさまざまな布石を打ってきましたが、創立40周年を迎えた昨年、私は「新生セコム5カ年構想」を発表し、その基本ビジョンを「Originate New SECOM 新生セコムへの第二の創業」とし、セコムグループの総力を挙げて「社会システム産業」の本格展開をはかることを宣言しました。そして具体的な目標として、

5年後グループ売上高倍増、グループシナジーの実現、新事業創出、セキュリティ事業の革新、すべての既存事業の収益化を掲げました。

の新事業については、セコムアルファ(株)が衛生環境事業に進出しました。これにより、今後は防犯・防災・設備管理に加え、空気清浄サービスなど施設の環境サービスも提供していきます。

のセキュリティ事業の革新については、冒頭で紹介した商品のほかに、短時間でオフィスの金庫や現金、高額商品を持ち去る犯罪に対応するため、発煙と大音響で侵入した賊を威嚇する「フォギープロテクション」、住宅屋外用の映像監視・記録システム「ホームカメラシステム」、簡単なボタン操作で緊急事態を通報できる「通報サービス付きココセコム」、この6月からは、GPS通信端末としては世界最小・最軽量の新型携帯端末によるペット用「ココセコム」の販売を開始するとともに、セコムオリジナル金庫「ピタゴラス」のラインナップの充実、指紋照合による出入管理システム「セサモIDs」の機能向上した新タイプの発売を行いました。



短時間犯行抑止システム
「フォギープロテクション」



GPS通信端末として世界最小・最軽量の
新型「ココセコム」携帯端末

の既存事業の収益化については、前述のように今期、メディア事業が初めて黒字になりました。このように、「社会システム産業」の本格展開に向けて日々全力疾走しているというのが、セコムグループの現況です。

Q 「社会システム産業」の本格展開をめざすセコムグループの今後については、どのように考えていますか。

マーケットが急拡大するなど 「セコムの時代」が到来

今は逆風の時代とされています。しかし私たちには順風、いや追い風が吹いています。セコムグループのマーケットが急拡大しているからです。その規模は、事業所向けの数百万から家庭向けで数千万に増え、「ココセコム」を発売したことにより、人と車

を合わせると数億のマーケットになっています。セコムグループの歴史の中でこれだけマーケットが急拡大した時期はありません。

しかも、セコムというブランドは、今では「安全・安心」の代名詞になっており、安全に関することについて、社会はセコムというブランドに大きな期待と信頼を寄せています。そういう意味で、まさに「時」が来た、セコムの時代が到来したと考えています。

5年後総売上高倍増に向けて 今年を「大飛躍」の年に

そこで、2年目の今年は「新生セコムへの第二の創業」にふさわしく、セコムの創業時以上のエネルギーを発揮し、その努力の成果として業績面でも「大飛躍」を成し遂げたいと思います。

そのために、一つはグループの総合力を徹底活用します。たとえば、ホームセキュリティの営業で、従来の住宅総合保険に比べ保険料が最大で50%割引となる「セコム安心マイホーム保険」を武器として使えば競争力が強まります。がんを治すための自由診療保険「メディコム」も同様です。つまり、グループのシナジーを日々の活動の中に定着させていきます。

もう一つは、お客様や社会の視点から既存システムを改善・強化するとともに、新しい商品やサービスを創出していき、「セコム＝安心と信頼」のブランドイメージをさらに高めていきます。そして、いつの日か、社会や人々から「セコムがあるから安心で便利だ」と言われるようになったとき、私たちがめざしている「社会システム産業」は実現したと言えます。その来るべき「時」に向かって、これからも私たちセコムグループはたゆみなく前進していきます。

連結決算報告

連結貸借対照表(要旨)

(2003年3月31日現在)

単位:億円

資 産 の 部	10,901
流 動 資 産	4,209
現金及び預金	1,757
コールローン	300
受取手形及び売掛金	439
未収契約料	163
有価証券	364
たな卸資産	413
短期貸付金	513
その他	257
固 定 資 産	6,690
有形固定資産	2,610
建物及び構築物	908
警報機器及び設備	650
土地	878
その他	173
無形固定資産	345
投資その他の資産	3,734
投資有価証券	1,888
長期貸付金	1,024
繰延税金資産	380
その他	440
繰延資産	1
資 産 合 計	10,901

負 債 の 部	6,923
流 動 負 債	2,595
支払手形及び買掛金	155
短期借入金	1,355
未払金	195
未払法人税等	107
前受契約料	288
その他	492
固 定 負 債	4,328
社 債	320
長期借入金	483
預り保証金	283
退職給付引当金	452
保険契約準備金	2,744
その他	45
少数株主持分	280
資 本 の 部	3,697
資 本 金	663
資 本 剰 余 金	825
利 益 剰 余 金	2,763
その他有価証券評価差額金	1
為替換算調整勘定	113
自 己 株 式	442
負債、少数株主持分及び資本合計	10,901

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

主な連結子会社の紹介

セコム上信越㈱

1967年5月に設立された、新潟、長野、群馬の三県をエリアとする上信越地方最大のセキュリティ会社(本社・新潟市)。2002年2月に東証二部に株式を上場し、各種安全システム、安全商品の販売のほか、在宅介護サービスの提供など情報、教育、医療分野でも積極的に取り組み、「社会システム産業」の構築をめざしています。

セコムテクノサービス㈱

1970年5月に設立。セコムの安全システムの工事を中心に、建設設備全般の設計から施工監理までの一貫したトータルサービスに加え、マンション向け安全管理システムの販売や空調・給排水を含めた各種ビル設備に関する保守・管理サービス、情報機器の設置・保守などを全国体制で提供しています。1999年10月、東証二部へ株式を上場。

セコム医療システム㈱

2002年3月、セコムの医療事業部門を分割す

るとともに、セコム在宅医療システム(株)、セコムケアサービス(株)、セコム漢方システム(株)の3社を合併、それらを統合してセコム医療システム(株)としてスタート。医療事業統轄会社として医療事業の企画・統轄を行うとともに、医療・保健・福祉三位一体の、一貫したより質の高いサービスを提供しています。

セコム損害保険㈱

1998年9月にグループ入りし、セコム東洋損害保険(株)として新たにスタート。2000年5月、セコム損害保険(株)へ社名を変更。日本初の現

連結損益計算書(要旨)

(2002年4月1日から2003年3月31日まで)

単位:億円

売上高	5,232
売上原価	3,259
売上総利益	1,973
販売費及び一般管理費	1,244
営業利益	729
営業外収益	86
営業外費用	115
経常利益	700
特別利益	135
特別損失	157
税金等調整前当期純利益	679
法人税、住民税及び事業税	278
法人税等調整額	21
少数株主利益	23
当期純利益	355

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

参考

- ・連結子会社数 124社
- ・持分法適用会社数 39社
- ・1株当たり当期純利益 154円96銭

営業の概況(連結)

当期の連結売上高は5,232億円(前期比253億円、5.1%の増収)、連結営業利益は729億円(前期比298億円、69.5%の増益)、連結経常利益は700億円(前期比285億円、68.7%の増益)、連結当期純利益は355億円(前期比260億円、271.3%の増益)となりました。

当グループの各事業の種類別売上高は次の通りとなっています。

セキュリティサービス事業

3,519億円(前期比3.8%増)

メディカルサービス事業

199億円(前期比48.5%増)

保険事業

381億円(前期比5.8%減)

情報・通信・その他の事業

1,131億円(前期比7.9%増)

連結売上高合計

5,232億円(前期比5.1%増)

(注)金額は外部顧客に対する売上高で、億円未満を切り捨てて表示しております。

場急行サービスが付加された自動車保険のほか、セキュリティと保険が一体となったセキュリティ割引火災保険や家庭総合保険、がんを治すための自由診療保険など、これまでにないセコムならではの保険商品を発売しています。

セコムトラストネット(株) 2000年4月、セコムネット(株)にグループのサイバーセキュリティ事業の経営資源を結集し、社名もセコムトラストネット(株)に変更。ネットワークの構築から、ウイルスや不正侵入などに

対する監視サービス、電子証明書の発行や認証局の運用業務を行う電子認証サービスのほか、高度な安全性を備えたセコムセキュアデータセンターを運営しています。

(株)バスコ

1999年8月にグループ入りした、航空写真測量とGIS(地理情報システム)の分野でトップのシェアを持つ東証一部上場会社。官公庁を中心に計測技術、建設コンサルタント、情報システムの各事業を展開、欧米の計測・測量システム機器やGISソフトウェアの有力企業とも業務提

携し、グローバル市場で最も競争力のある体制を構築しています。

セコム
西科姆中国グループ 1992年12月設立(本社北京市)、1993年7月に日本企業初の持株会社としての認可を取得した西科姆中国有限公司は、中国グループの本社の役割を持っています。現在、大連、上海、北京、青島の4市において、各地の中国現地法人と合併でセキュリティ会社を設立。いずれもその地で初のオンライン安全システムを提供しています。

単体決算報告

貸借対照表(要旨)

(2003年3月31日現在)

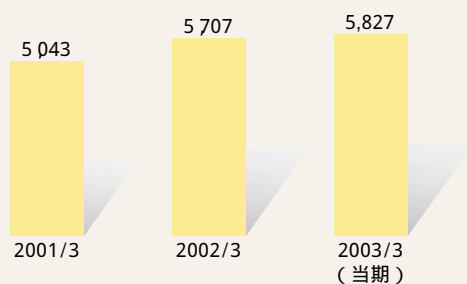
単位:億円

資 産 の 部		
流動資産		1,836
現金及び預金		930
未収契約料		83
売掛金		46
有価証券		79
たな卸資産		81
短期貸付金		531
その他		83
固定資産		3,991
有形固定資産		1,383
建物		287
警報機器及び設備		602
土地		421
その他		71
無形固定資産		143
投資等		2,463
投資有価証券		465
子会社株式・出資金		1,341
長期貸付金		100
長期前払費用		197
繰延税金資産		183
その他		175
資産合計		5,827

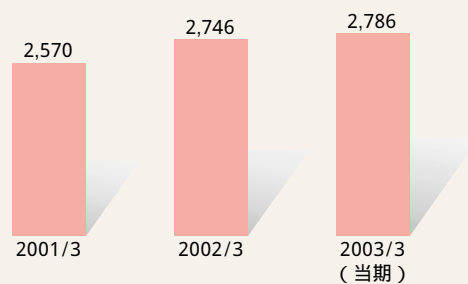
負 債 の 部		
流動負債		1,307
買掛金		21
短期借入金		522
未払金		131
未払法人税等		68
預り金		247
前受契約料		210
その他		106
固定負債		808
社債		300
長期借入金		37
退職給付引当金		303
その他		167
負債合計		2,115
資本の部		
資本金		663
資本剰余金		825
利益剰余金		2,664
株式等評価差額金		1
自己株式		442
資本合計		3,711
負債及び資本合計		5,827

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

総資産(億円)



売上高(億円)



損益計算書(要旨)

(2002年4月1日から2003年3月31日まで)

単位:億円

売上高	2,786
売上原価	1,554
販売費及び一般管理費	689
営業利益	541
営業外収益	42
営業外費用	49
経常利益	535
特別利益	65
特別損失	75
税引前当期利益	525
法人税、住民税及び事業税	209
法人税等調整額	8
当期利益	307
前期繰越利益	2,237
合併による子会社出資金消却額	1
当期末処分利益	2,543

(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

参考

- ・1株当たり当期利益 134円45銭
(期中平均株式数により算出しております)

営業の概況(単体)

当期の売上高は2,786億円(前期比39億円、1.4%の増収)、営業利益は541億円(前期比152億円、39.2%の増益)、経常利益は535億円(前期比146億円、37.6%の増益)、当期利益は307億円(前期比138億円、81.6%の増益)となりました。

利益処分

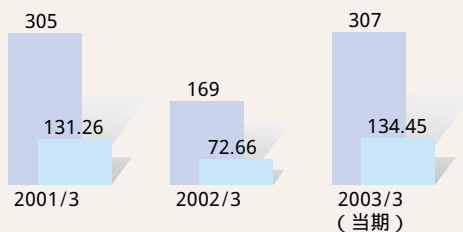
単位:億円

当期末処分利益の処分	
当期末処分利益	2,543
買換資産圧縮積立金取崩額	0
計	2,543
上記金額を次のとおり処分します。	
株主配当金 (1株につき40円)	90
取締役賞与金	1
次期繰越利益	2,452

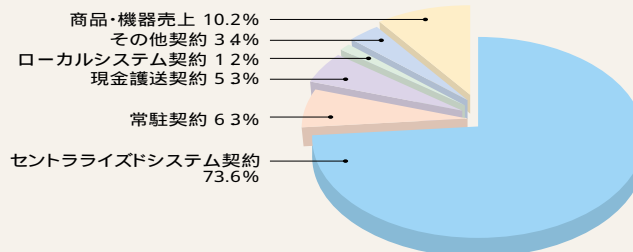
(注)金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

当期利益(億円)および1株当たり当期利益(円)

1株当たり当期利益は、2002年3月期までは期末発行済株式数により算出し、2003年3月期(当期)より期中平均株式数により算出しております。
2002年3月期の当期利益および1株当たり当期利益の減少は、退職給付会計に係る会計方針変更に伴うものであります。



部門別売上高内訳 2003/3(当期)



TOPICS

[トピックス] 2002.4 ~ 2003.6

セコムは、1989年元旦、セキュリティの普及を通じて培った情報通信ネットワークをベースに、企業や家庭にとって安全で、便利で、快適なサービスシステムを創造し、それらをトータルに提供する「社会システム産業」の構築をめざすことを内外に宣言しました。以来15年が経過した現在、情報、メディカル、保険、地理情報サービスなどの分野に進出したセコムは、「社会システム産業」の本格展開に挑戦しています。

社会システム産業の本格展開をめざして

セキュリティサービス事業

セコム(株)	セコムジャスティック(株)
セコム上信越(株)	セコムテクノサービス(株)
セコム北陸(株)	セコム工業(株)
セコム山梨(株)	セコムアルファ(株)
セコム三重(株)	能美防災(株) 他

メディカルサービス事業

セコム医療システム(株)
(株)マック 他

保険事業

セコム損害保険(株)
セコム保険サービス(株)

情報・通信・その他の事業

セコムトラストネット(株)
セコム情報システム(株)
(株)パスコ
セコムラインズ(株)
セコムホームライフ(株)
ジャパンケーブルネット
ホールディングス(株)
宮城ネットワーク(株) 他

海外事業

ウェステック・インターアクティブ・セキュリティInc.(米国)	
セコムPLC(英国)	セコムオーストラリア(株)
中興保全股份有限公司(台湾)	(株)エスワン(韓国)
タイセコムビタキイ(株)	セコムマレーシア(株)
セコムシンガポール(株)	セコムインドプラタマ(株)
西科姆中国有限公司	大連西科姆電子安全有限公司
上海西科姆電子安全有限公司	北京京盾西科姆電子安全有限公司
青島西科姆電子安全有限公司	上海能美西科姆消防設備有限公司 他

セキュリティサービス事業

企業向けセキュリティ

事務所・店舗での短時間犯行、盗難建設機械によるATM破壊窃盗など、新たな犯罪手口に対応した新しいシステムや商品をいち早く開発・販売していきます。

わが国初の「ATM店舗セキュリティシステム」を発売
2002年12月

盗難建設機械によるATM破壊窃盗に対応するため、ATM設置店舗に盗難建設機械が近づいた時点で事前に検知し、犯行以前に威嚇などを行って破壊行為を抑止する、わが国初の「ATM店舗セキュリティシステム」を開発。あわせて、店舗構造とATM設置構造を強固にする「物理的防護ユニット」、建設機械の盗難を防止する建機用「ココセコム」を開発しました。



短時間犯行抑止システム
「フォギープロテクション」発売
2003年5月

建物・施設に侵入し、短時間のうちに金庫や現金・高額商品などを狙う犯罪に対応するため、瞬時の発煙と大音響で侵入した賊を威嚇する、短時間犯行抑止システム「フォギープロテクション」を開発し、販売を開始しました。

あらゆる建物を対象にした
指紋照合システム「セサモIDs」発売 2003年1月



従来の指紋照合ロジックを抜本的に改善し、照合精度や使い勝手を大幅に向上させた指紋照合システム「セサモIDs」を発売。標準で500人、最大2500人までの登録が可能で、大型の建物・施設から一般の戸建て住宅までのあらゆる建物・施設に対応可能です。



わが国初のフルデジタル画像
監視システム「D-CCTV」発売
2003年1月

カメラから記録装置までの映像・音声信号をすべてデジタル化することで、

画像劣化のまったくない鮮明な映像を表示・記録することを可能にした、わが国初のフルデジタル画像監視システム「D-CCTV」を発売しました。

セコムと能美防災がわが国初の

防災・防犯一体化システムを商品化 2003年3月

セコムとグループ会社で防災業界のトップ企業の能美防災(株)は、中規模以上の建物・施設を対象に、同社の火災受信機や総合操作盤とセコムの中規模以上のビル向け総合集中管理システムを接続した、わが国初の「防災・防犯一体化システム」を商品化しました。

わが国初の指示者追尾型ロボット「セコムロボット」を開発

2002年10月



障害物を認識・回避しながら、平地やスロープ、階段も指示者を追尾して走行。緊急時には、襲撃犯から現金や貴重品を防御する機能も備えた、現金護送用のわが国初の指示者追尾型ロボット「セコムロボット」を開発。「セコムフェア2002」で初公開し、2003年度中の実用化をめざしています。

3子会社が合併して誕生したセコムアルファが

衛生環境事業に本格進出 2003年4月

グループ会社のセコム機器販売(株)とセコムアクア(株)、セコムパセック(株)の3社は、2002年4月1日付で合併し、社名をセコムアルファ(株)に変更。2003年4月からは、衛生環境事業に本格的に進出し、外食産業やスーパーマーケットなどの店舗、病院、学校、ホテル、オフィスビルなどを対象に、空気清浄サービスや防虫対策商品の販売などを通じてトータルな施設の安全・環境サービスを提供していきます。

家庭向けセキュリティ

高齢社会、長寿社会を迎えた現在の大きなテーマは健康。安心して暮らしていただくために、今後、セキュリティとメディカルサービスを一体的に提供していきます。

在宅時の安全強化に物理的防護策をご提案 2003年6月

ホームセキュリティご契約先の在宅時の安全強化対策として、旭硝子(株)

と共同開発したセンサー付き防犯ガラスである「SECOM あんしんガラス(タイプA)」や防犯合わせガラス「SECOM あんしんガラス(タイプB)」、センサー内蔵のスチール製「セキュリティ面格子」の販売、寝室の扉を「ストロングドア」への交換などの物理的防護策のご提案を始めました。

会員制医療サービス「セコム・メディカルクラブ」を

今秋から開始 2003年5月

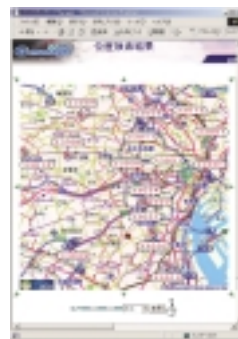
「セコム・ホームセキュリティ」のご契約先からの予防医療・救急医療分野のサービスに対するご要望にお応えするために、「予防医療関連サービス」「救急医療関連サービス」「医療機関・専門医などの紹介サービス」を柱とする会員制医療サービス「セコム・メディカルクラブ」を、今秋から開始します。

積水ハウスとホームセキュリティで提携 2002年12月

セコムは、住宅産業のリーディングカンパニー・積水ハウス(株)とホームセキュリティで提携。「セコム・ホームセキュリティ」を1つの柱とした積水ハウス(株)の新しいコンセプトである「防犯住宅」が2002年11月からスタートし、2003年から本格的に動き始めました。

人物・車両向けセキュリティ

セキュリティの領域を人や車両、物にまで拡大した「ココセコム」。今やその契約対象は、大切なペットにまで広がっています。



運行・社員管理に威力を発揮する

「ココセコムGマネージャー」

2002年4月

従来のセキュリティ機能に加え、移動中の業務車両や社員の管理など、最大20台の「ココセコム」端末を一括検索・同時表示したり、指定の時間帯に自動検索してその結果をダウンロードできる「ココセコムGマネージャー」の発売を開始しました。

「通報サービス付きココセコム」の販売を開始 2003年4月

人用の「ココセコム」所有者が緊急事態に遭遇した際に、そのことを専用通信端末の簡単なボタン操作でセコムに通報できる「通報サービス付きココセコム」を新たに開発し、販売を開始しました。

NTTドコモのGPS携帯電話対応 「ココセコム-i」サービス開始

2003年4月

(株)NTTドコモが開発したGPS機能を搭載した携帯電話のコンテンツの一つとして、「ココセコム-i」のサービスを開始。KDDIのGPS携帯向け「ココセコムEZ」と同様、携帯電話の簡単なボタン操作で救急信号の送信が可能となっています。



ペット用「ココセコム」の サービス開始 2003年6月

従来の「ココセコム」携帯端末の小型軽量化をはかり、世界最小・最軽量のGPS通信端末(縦79×横43×厚さ18.2mm、重さ約48g)を開発。この6月から、「ココセコム」の位置検索対象をペットにまで拡大し、家族の一員である大切なペットの安全も見守ります。

メディカルサービス事業

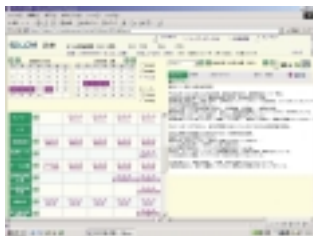
社会システム産業の重要な柱の一つであるメディカルサービス事業。わが国初の本格的な在宅医療サービスをはじめ、先進的なメディカルサービスを提供していきます。



日本初の食事支援ロボット 「マイスプーン」を発売

2002年5月

手の自由がきかず自分で食事をすることができない障害者の方が、わずかなジョイスティック操作により自分のペースで食事ができる、わが国初の食事支援ロボット「マイスプーン」を障害者個人や社会福祉施設などを対象に発売しました。



在宅医療中心のクリニックの 開業・運営支援事業を開始

2003年4月

セコム医療システム(株)は、セコムがこれまでに蓄積した在宅医療のノウハウやASP型(共同利用型)「電子カルテシステム」を利用し、新規に在宅医療中心のクリニックを開

設する医師に対して開業・運営支援事業を本格的に開始しました。



携帯型ヘルスマニターサービス 「心電図伝送サービス」を開始

2003年4月

セコム医療システム(株)は、携帯型ヘルスマニターサービスの第一弾として、おもに不整脈患者が小型・軽量の携帯型心電計を用いて心電図を測定、測定データをセコムのセンターに送信し、自動的に指定先にファクスする「心電図伝送サービス」を開始しました。

情報・通信・その他の事業

サイバーセキュリティ

物理的なセキュリティと並んで重要なネットワークのセキュリティ。世界最高水準のセコムセキュアデータセンターが、各種のサイバーセキュリティサービスを提供しています。

日立製作所と協業し、「セコム情報金庫」を拡販

2002年12月



セコム、セコムトラストネット(株)両社と(株)日立製作所は、「電子自治体」を展開する地方公共団体向けに、フィジカル、サイバー両面のセキュリティノウハウを盛り込んだ、わが国初の本格的な情報金庫「セコム情報金庫」のセキュリティソリューション開発と販売で協業していきます。

宮崎県で電子自治体向けサイバーセキュリティサービスを開始

2002年11月

セコムは宮崎県を拠点とするシステムインテグレーション企業の(株)デンサンと提携し、同県の電子自治体向けサイバーセキュリティサービスを開始しました。今後、宮崎県での実績を弾みに、全国の自治体に対して同サービスの提供をめざしていきます。

中国でサイバーセキュリティサービスを提供

2002年12月

セコム
西科姆中国有限公司の子会社の北京セコム信息技术有限公司は、(株)

NTTデータ、米IBM、三井物産(株)の3社と提携し、中国に進出した日系企業を対象に、情報システムの診断・評価や最適なシステムの構築、各種のサイバーセキュリティサービスの提供を行います。

その他の事業

学校向けコンピュータ教育用ソフトの販売、地理情報サービス事業、快適で安全なマンションの供給など、社会システム産業の一翼を担う各種の事業を展開しています。

セコムラインズが新しい教育サービスを開始 2003年4月
セコムラインズ(株)は、学校向けに教育用ソフト配信サービス「ラインズeライブラリアドバンス」を開始。学校での普通の学習に加え、学校との追加契約により、児童・生徒が家庭のパソコンから学校と同様の学習ができるまったく新しい教育サービスを実現しました。



サービス開始から5周年を迎えた「セコムの食」

2003年4月

全国各地のおいしい食を通信販売で提供する「セコムの食」は、今年4月、サービス開始5周年を迎えたのを機に、これまで「セコム・ホームセキュリティ」のご契約先への提供を中心としていましたが、今後は一般消費者への販路拡大も行っていきます。

セコム創立40周年の記念行事

1962年、わが国初のセキュリティ会社として創業し、社会に安全・安心を提供してきたセコム。創立40周年を迎えた2002年、その記念行事を行いました。

「3大テノール・ラスト・コンサート」に特別協賛

2002年6月



2002年6月27日、新横浜の「横浜アリーナ」で開催された、ルチアーノ・パヴァロッティ、プラシド・ドミンゴ、ホセ・カレーラスによる「3大テノール・ラスト・コンサート」に特別協賛しました。



全国5都市で「セコムフェア2002」を開催 2002年10月

セコムグループが構築をめざす「社会システム産業」の全貌をより多くの方々にご理解いただくために、10月2~4日の東京を皮切りに、名古屋、大阪、仙台、福岡の全国5都市で「セコムフェア2002」を開催。全会場とも予想を上回る来場者で大盛況となりました。

その他トピックス

NHK「プロジェクトX」でセコム創業物語を放送 2002年10月



2002年10月8日(火)のNHKテレビ「プロジェクトX」で、セコムの昭和37年の創業期から40年代中ごろまでの草創期の物語が放送されました。セコムの原点が紹介されただけに、多くの方々からご意見ご感想が寄せられるなど、大きな反響を呼びました。

セコムラグビー部が最高峰のトップリーグ入り 2003年1月



セコムラグビー部は、今年秋のシーズンから始まる全国のトップ12チームによるリーグ戦を行う社会人ラグビーの最高峰「ジャパンラグビートップリーグ」入りしました。全国の名だたる強豪チームとの激闘を通じて、セコムラグビー部の新しい歴史が幕を開けます。



インターネットで見られる、

セコムの最新情報

セコムグループのホームページは、企業についての情報と、商品・サービスについての情報とを分けてご案内しています。また、つねに最新情報をご覧いただけるように内容を随時更新。ここではその主な内容をご紹介します。

トップページ

▶ 企業情報は

<http://www.secom.co.jp/>

企業についての情報提供ページでは、セコムおよびセコムグループが、どのような事業活動を行っているかをご紹介します。また、IS研究所の研究テーマや花形研究者を通じて、セコムの先進技術力もご理解いただけます。

会社情報

セコム株式会社およびセコムグループの概要、トップメッセージ、企業理念、セコムグループの歩み、経営ビジョン＝「社会システム産業」の構築をめざしてなど。

セコムグループの企業情報として、セキュリティ、情報系、メディカル、教育、保険、地理情報サービス、海外などの事業と、そのグループ企業の紹介。

本社地図、IS研究所、開発センター、セキュリティ事業所、ホームセキュリティショップなどの一覧を掲載。

報道資料

最新情報と、過去1年間の報道資料も掲載。

IR情報

アニュアルレポートから有価証券報告書、決算短信、事業報告書など、投資家向け情報を公開(英語ページあり)。

貸借対照表・損益計算書

第41期より決算公告に代えて貸借対照表ならびに損益計算書を掲載。

採用情報

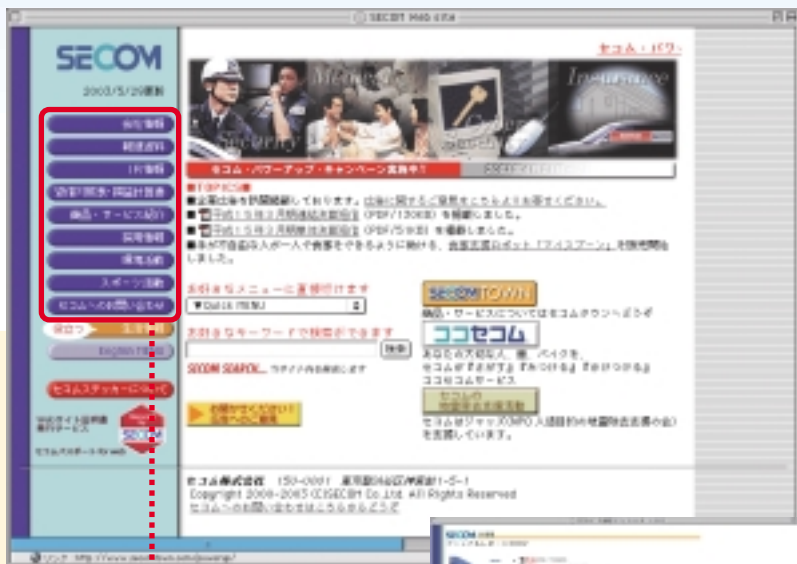
定期採用やキャリア採用などのリクルート情報。

環境活動

セコムの環境保全活動の取り組みについて、環境ポリシー、環境マネジメントシステム、環境負荷を軽減する事業活動、活動報告など。

スポーツ活動

セコムラグビー部やセコム柔道部について、試合日程・結果、メンバーなどを詳しくご紹介。



アニュアルレポート



環境保全活動のご紹介



セコムラグビー部

▶ 商品・サービス情報は

<http://www.secomtown.com/>

セコムがセキュリティから健康食品まで、どのような商品・サービスを提供しているのか、その詳細をご紹介します。また一部商品はオンラインによるご購入も可能です。

ホームセキュリティ、住宅

サービスやモデルプランだけでなく家のセキュリティチェックまでも掲載。また住宅では、マンションの物件一覧、一戸建てをお届けするセコムのパートナーをご紹介します。

企業向けセキュリティ、防犯設備メンテナンス

24時間体制のオンラインセキュリティをはじめ、システム金庫「ピタゴラスシリーズ」などを掲載。防災設備メンテナンスでは、自動消火システムやホームスプリンクラー、設備管理など。

セコムの食、ミネラル水

自然な美味しさにこだわった食品の通信販売「セコムの食」と、おいしくて安心して飲める「セコム水ホームユニット」など。

教育

教室、学校、家庭で、だれもが学習したいときに必要な情報を、「人とコンピュータとネットワーク」システムでご提供。

サイバーセキュリティ・情報サービス、地理情報

データセンター、認証、監視、EDI 電子帳簿保管などのサービス、高機密なネットワークセキュリティ製品群、e-CRMビジネスのIT化提案などを掲載。地理情報では、GISを基盤にした経営ナビゲーションサービスなどをご紹介します。

メディカル

在宅医療や在宅介護 / 家事支援サービス、食事支援ロボット、医療機関向けの遠隔読影サービス、電子カルテ、在宅医向けコールセンター、看護支援の「ナース・スケジュール・プロ」などをご紹介します。

セコムの健康食品

自然素材と品質にこだわった健康食品を、目的、商品名、素材から選べる通信販売。



セコム医療システム

ホームセキュリティ

損害保険

がんを治すための自由診療保険「メディコム」、「NEWセコム安心マイカー保険」、「セコム安心マイホーム保険」など。

CATV・デジタル放送・旅行

ケーブルテレビ放送サービス、デジタル放送の映像ソフト制作と番組配信サービス、旅行のリゾートライフ提案など。

役立つ生活情報

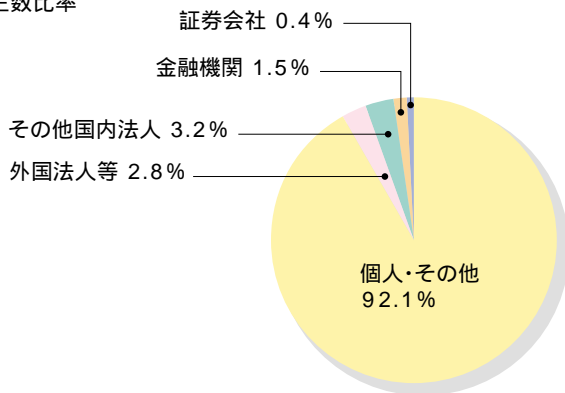
防災ワンポイントアドバイス、暮らしの安全読本、日常生活でのヘルプデスク・法律相談、消火器・車両盗難防止・水WEB、症状別メディカルアドバイザーなど。

株式情報

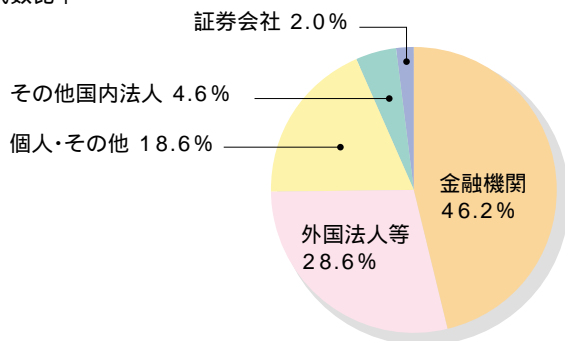
株式の状況 (2003年3月31日現在)

1. 会社が発行する株式の総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,281,133株
3. 1単元の株式数 500株
4. 株主数 20,230名
5. 所有者別状況

株主数比率



株式数比率



株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 6月下旬
株主配当金支払株主確定日 3月31日
中間配当制度 なし
基準日 3月31日
(その他必要あるときは、あらかじめ公告した日)

公告掲載新聞 日本経済新聞

[日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を下記の当社のホームページに掲載しております。]

<http://www.secom.co.jp/bspl/>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
大阪証券取引所市場第1部

名義書換代理人

東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

三菱信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

三菱信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先(郵便物送付、電話照会)

〒171-8508 東京都豊島区西池袋1丁目7番7号

三菱信託銀行株式会社 証券代行部

電話(03)5391-1900(代表)

お知らせ

1. 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。
2. 配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。
3. 2003年4月1日施行の商法改正により、「株券失効制度」がスタートし、株券を喪失された場合の手続が従来の公示催告・除権判決に基づく再発行手続より簡便となりました。詳細は名義書換代理人にご照会ください。

会社概要

資 本 金

66,368百万円

社員数(グループ総数)

34,607名

事業所数(グループ総数)

1,176カ所

事 業 内 容

1962年、日本初のセキュリティ会社として創業。1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設など様々な施設に普及しています。2001年4月からは、移動する人物・車両向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備や現金護送システム、各種安全商品などの販売を通じて、社会に安全・安心を提供しています。

セコムグループは、現在、安全システムの普及を通じて培ってきた日本最大級の情報通信ネットワークをベースに、安心で、便利で、快適なサービス・システムを創造し、複合的・融合的に提供する「社会システム産業」の構築をめざしています。

ホームページのご案内

会社情報・IR情報などは

<http://www.secom.co.jp/>

商品・サービスのご案内、セコムの食などは

<http://www.secomtown.com/>

役員

(2003年6月27日現在)

取締役(最高顧問)	飯田 亮
取締役(最高顧問)	戸田 壽一
取締役会長	杉町 壽孝
代表取締役社長	木村 昌平
取締役副社長	原口 兼正
専務取締役	佐々木 信行
常務取締役	桑原 勝久
常務取締役	小林 清一郎
常務取締役	田中 重實
常務取締役	懸 昇一
常務取締役	前田 修司
常務取締役	秋山 勝夫
取締役	田尾 陽一
取締役	森 誠一
取締役	山中 征二
取締役	飯田 志農夫
取締役	井東 雄志郎
取締役	小幡 文雄
取締役	伊藤 博
取締役	小河原 俊二
取締役	才田 正明
取締役	杉井 清昌
監査役(常勤)	荻野 輝雄
監査役	常松 健
監査役	安田 弘
監査役	山下 耕平